

IR(赤外線)カットフィルム

取付要領書

品番

IR (赤外線) カットフィルム 1 台分 (スモーク)	08230-52540
IR (赤外線) カットフィルム 1 台分 (ダークスモーク)	08230-52560

構成部品

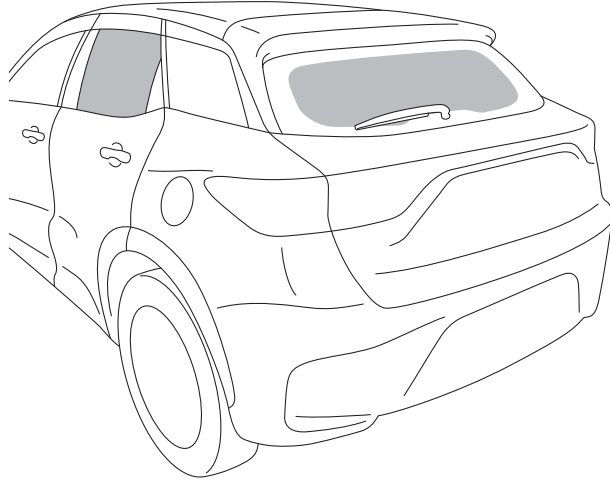
No.	品名	補給品番	個数	
1	リヤドアウインドウフィルム (スモーク)	RH	08230-52541	1
		LH	08230-52542	1
2	バックドアウインドウフィルム (スモーク)	08230-52543	1	
3	リヤドアウインドウフィルム (ダークスモーク)	RH	08230-52561	1
		LH	08230-52562	1
4	バックドアウインドウフィルム (ダークスモーク)	08230-52563	1	

※イラスト内の ○ は識別位置、[] は識別形状を示しています。

取り付けに必要な工具等

一般工具、スキージー（樹脂製）、スプレー容器、中性洗剤（推奨）、水道水、スケール、マスキーマスキングテープ、保護テープ、ビニールシート、クリップリムーバー、柔らかい布（ナイロン系）、ボードまたは机

取付概要



HBGE003F

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

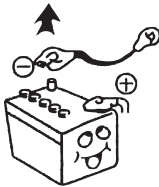
注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています

アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

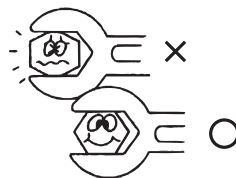
取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす

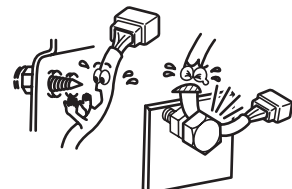


部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



作業時は

ゴミ・ホコリの侵入防止の為に

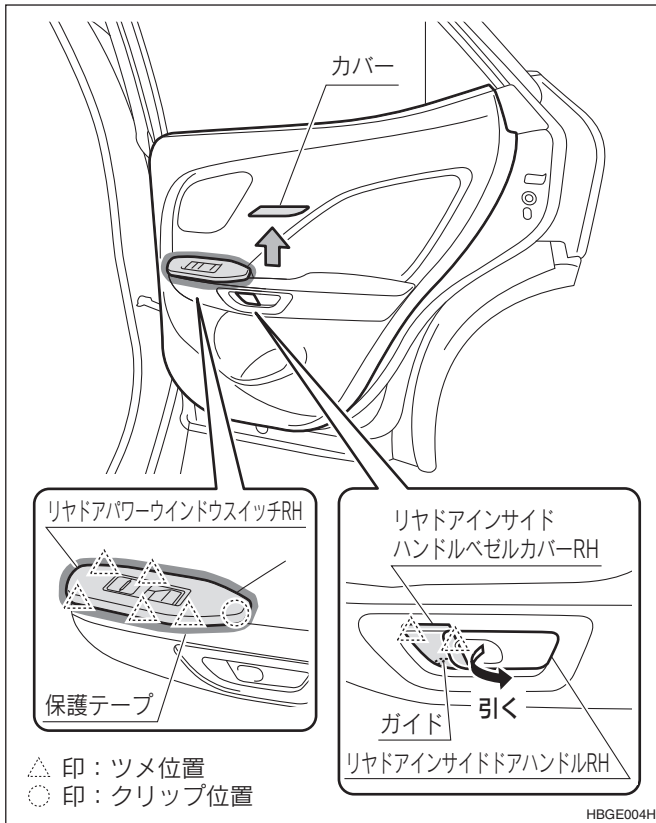
- ガラス両面の汚れを清掃する
- フィルムに施工液をかける
- 風等の無い場所で作業する
- 作業場、作業台を掃除してから作業する

取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



車両部品の脱着要領



取り付け前の準備

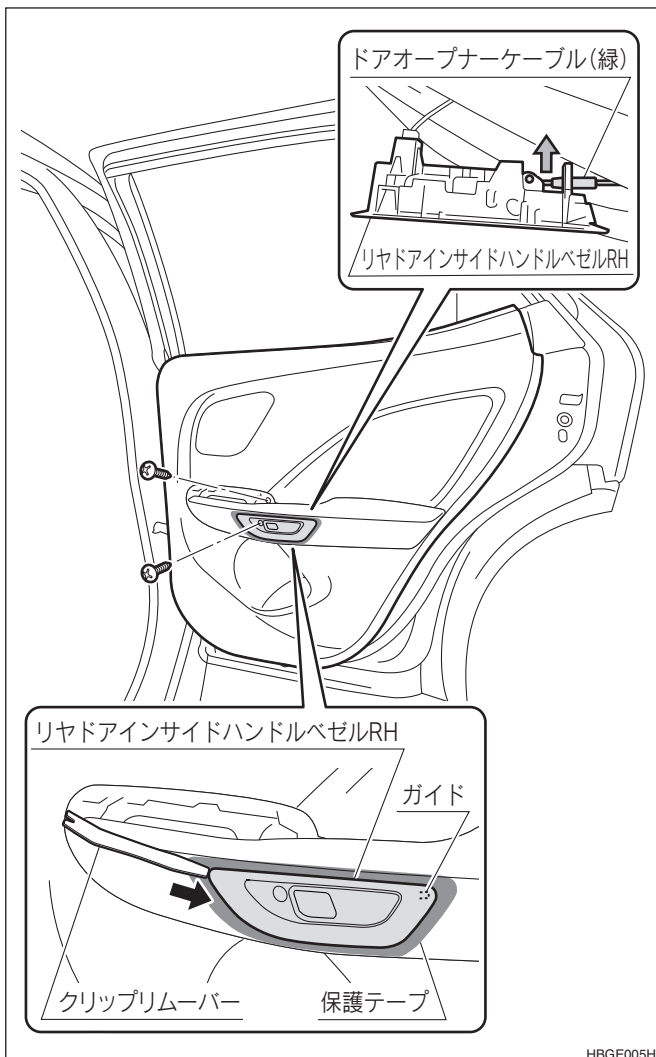
1. リヤドアガラス、各 RH・LH とバックドアガラスの車両外側を清掃する。
2. リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、約 20mm 下げる。(RH、LH 共)
3. バックドアを開ける。
4. バッテリーの (-) 側ケーブルをはずす。

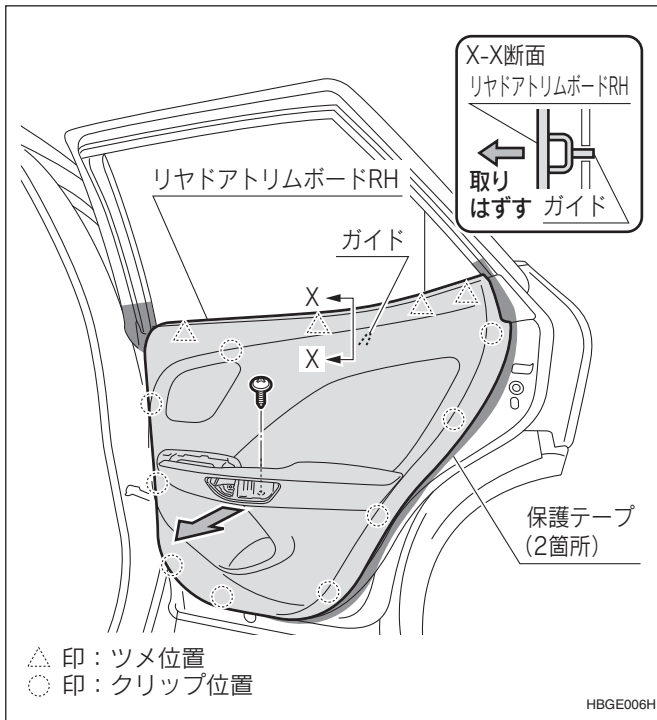
リヤドアトリムボードの取りはずし (図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。)

注意

周囲に表皮部品が装着されている場合は、傷を付けないよう注意してください。

1. ドアグリップ内のカバーを取りはずす。
2. 保護テープを貼り付ける。
3. ツメ (5 箇所) 及びクリップ (1 箇所) の嵌合をはずし、リヤドアパワーウィンドウスイッチ RH を取りはずす。
4. リヤドアインサイドドアハンドル RH を引きながら、ツメ (2 箇所) の嵌合をはずし、リヤドアインサイドハンドルベゼルカバー RH を取りはずす。
5. 保護テープを貼り付ける。
6. スクリュー (2 本) をはずす。
7. クリップリムーバーを使用して、リヤドアインサイドハンドルベゼル RH を取りはずす。
8. リヤドアインサイドハンドルベゼル RH 裏から、ドアオープナーケーブル (緑) を取りはずす。

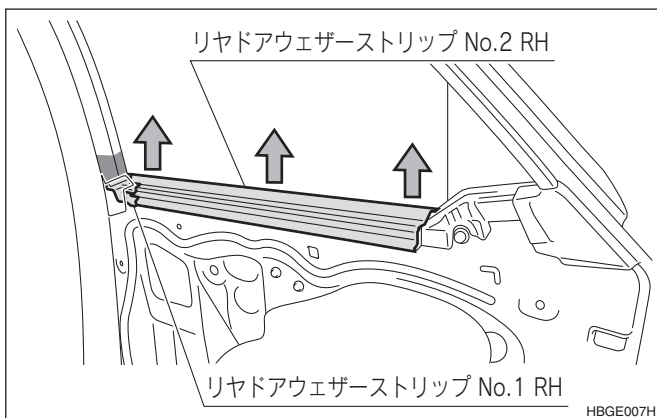




9. 保護テープを貼り付ける。
10. スクリュー (1本) をはずす。
11. ツメ (4箇所) 及びクリップ (9箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、リヤドアトリムボードRHを取りはずす。

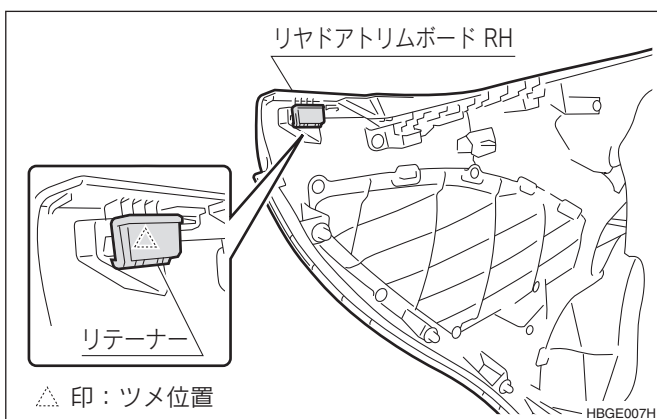
注意

ガイドを破損しないよう注意してください。



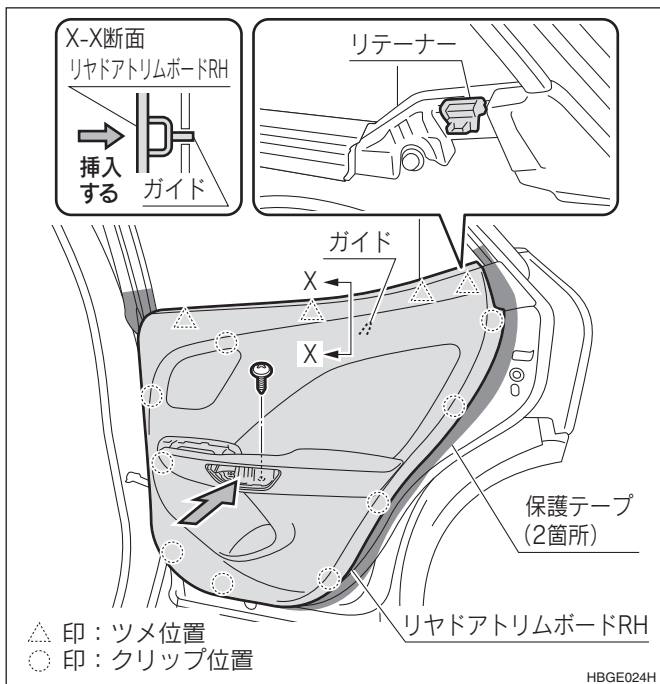
リヤドアウェザーストリップの取りはずし (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. リヤドアウェザーストリップ No.1 RH を取りはずす。
2. リヤドアウェザーストリップ No.2 RH を取りはずす。



リヤドアトリムボードの復元手順 (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. リヤドアトリムボードRHから、ツメ (1箇所) の嵌合をはずし、リテーナーを取りはずす。
2. リヤドアウェザーストリップ No.2 RH を取り付ける。
3. リヤドアウェザーストリップ No.1 RH を取り付ける。



4. リテーナーを取り付ける。

注意

下記復元手順に従って復元を行わないと、リヤドアトリムボードRHを破損する恐れがあります。

5. リヤドアトリムボードRH裏面のガイドをボデー面の挿入口に合わせ、矢印方向に挿入する。

注意

ガイドをボデー面に押し当てると、リヤドアトリムボードRHの表面が白く変色する恐れがあります。

6. ツメ (4箇所) 及びクリップ (9箇所) を嵌合させ、リヤドアトリムボードRHを取り付ける。

7. スクリュー (1本) を取り付ける。

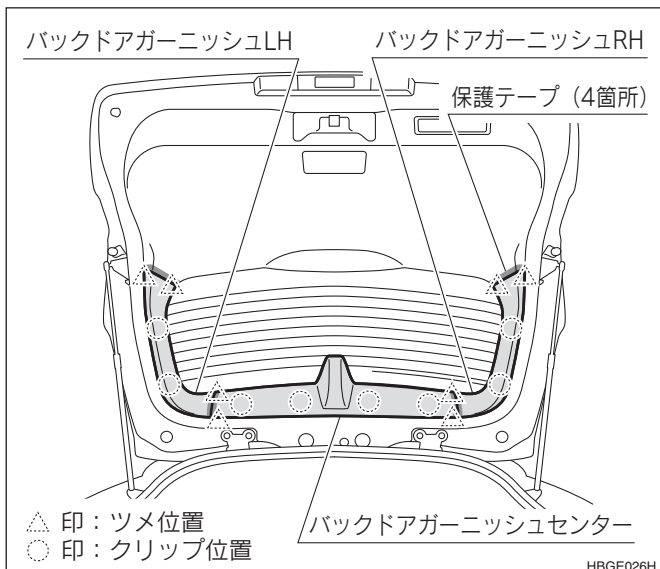


8. リヤドアインサイドハンドルベゼルRH裏に、ドアオープナーケーブル (緑) を取り付ける。

9. リヤドアインサイドハンドルベゼルRHを取り付ける。

10. スクリュー (2本) を取り付ける。

11. リヤドアインサイドハンドルベゼルカバーRH及びリヤドアパワーウィンドウスイッチRHを取り付ける。



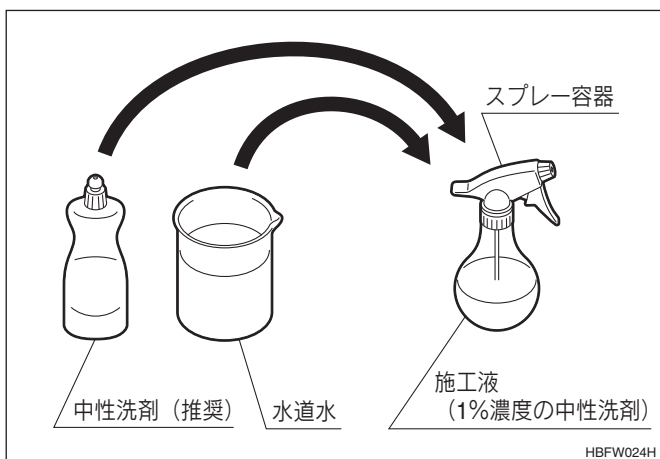
バックドアガーニッシュの取りはずし

1. 保護テープを貼り付ける。
2. ツメ (4 箇所) 及びクリップ (4 箇所) の嵌合をはずし、バックドアガーニッシュセンターを取りはずす。
3. ツメ (2 箇所) 及びクリップ (2 箇所) の嵌合をはずし、バックドアガーニッシュ RH/LH を取りはずす。

注意

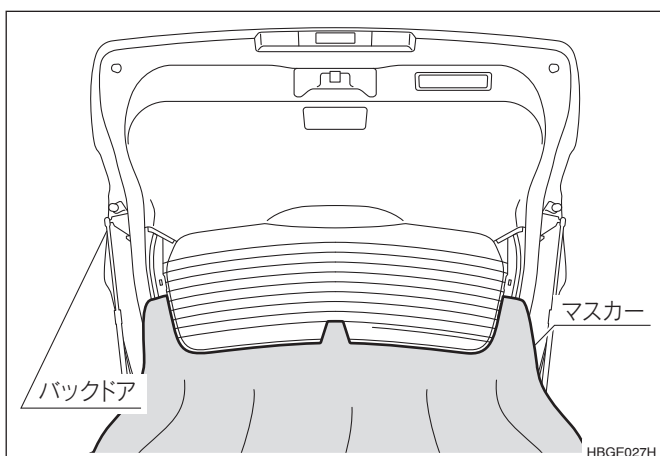
クリップが車両ボデー側に残った場合は、車両ボデーからクリップを取りはずし、バックドアガーニッシュに取り付けてから復元してください。

取付作業



施工液の準備

中性洗剤 (推奨) を水道水で 1% 濃度に薄める。

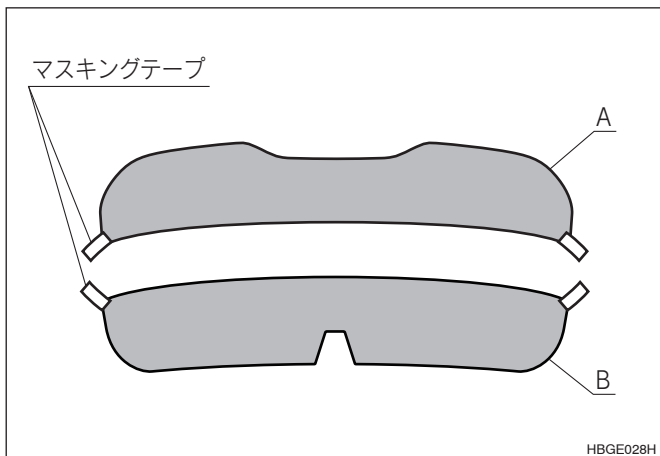


バックドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備

施工液が車室内に垂れるのを防ぐ為に、マスカー等でバックドアを覆う。

注意

カメラ部分に施工液がかからないようマスカー等で保護してください。



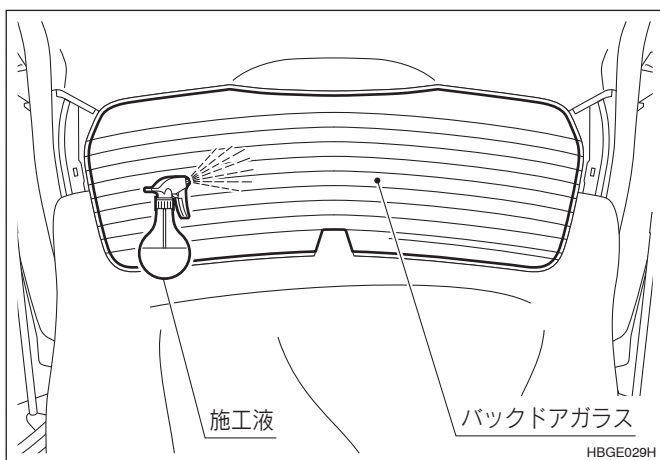
バックドアウインドウフィルムの取り付け

1. バックドアウインドウフィルムの A、B を区別する。

アドバイス

フィルム A から貼り付けます。

2. バックドアウインドウフィルム A、B 角部の表裏両面にマス킹テープを貼り付ける。

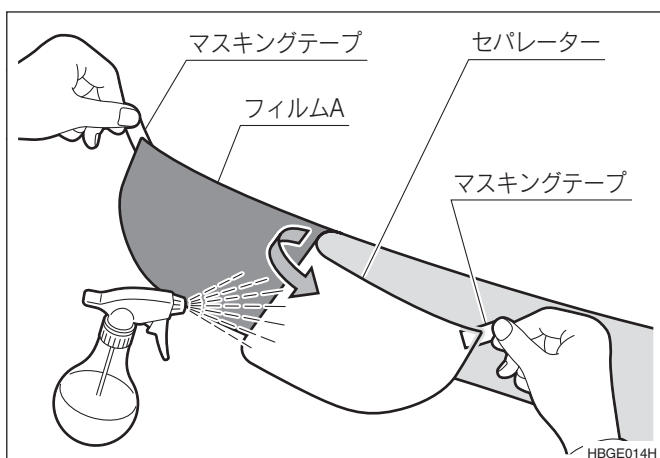


3. バックドアガラス室内側全面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

アドバイス

- (1) 施工液が車室内に垂れても大丈夫のように、ビニールシート等でカバーをしてください。
- (2) フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

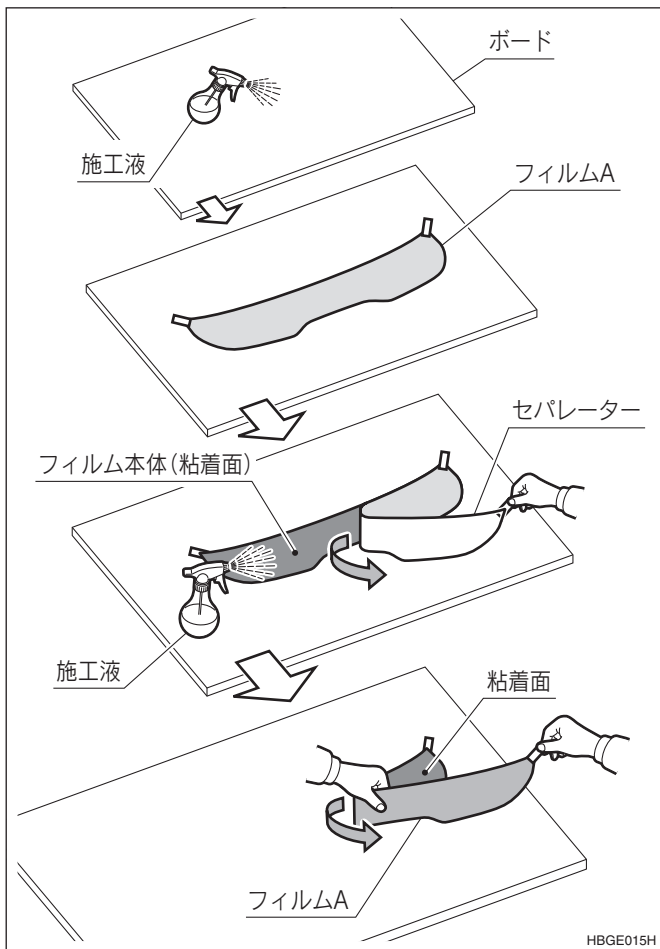
4. バックドアガラス室内側全面に、再度施工液をスプレーする。



5. マス킹テープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、フィルム A からセパレーターを剥がす。

アドバイス

- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) バックドアガラス及びフィルム粘着面に、施工液をスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。

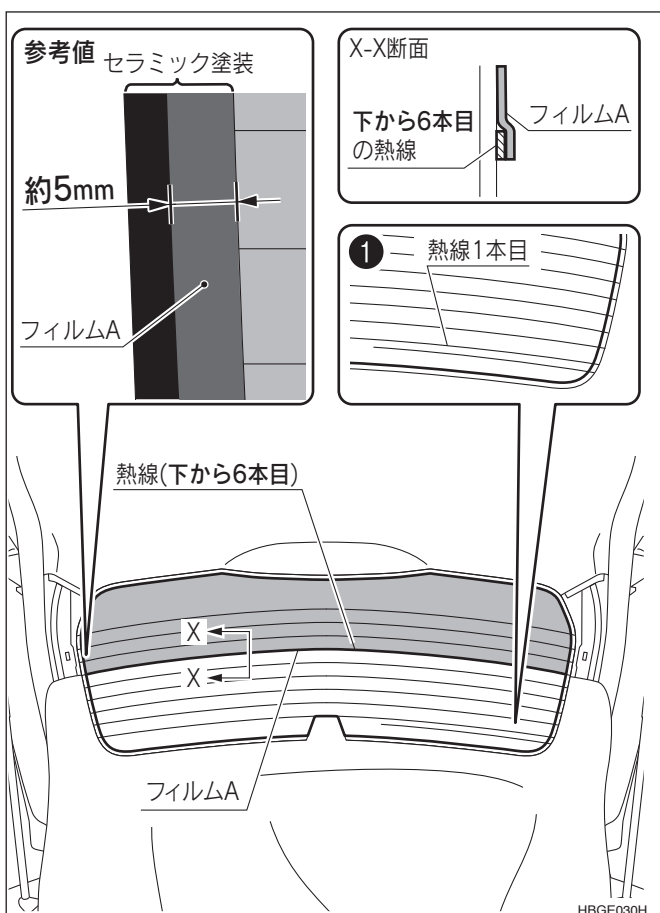


HBGE015H

👉 アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

- (1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をバックドア近くに準備します。
- (2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、フィルム A の本体側を平面部に貼り付けます。
- (3) マスキングテープを持って、粘着面に施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルム A からセパレーターを全て剥がします。
- (4) フィルム A の上端側の一方を片手で持ち、フィルム A を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。
- (5) フィルム A の粘着面をバックドアガラスに取り付けます。

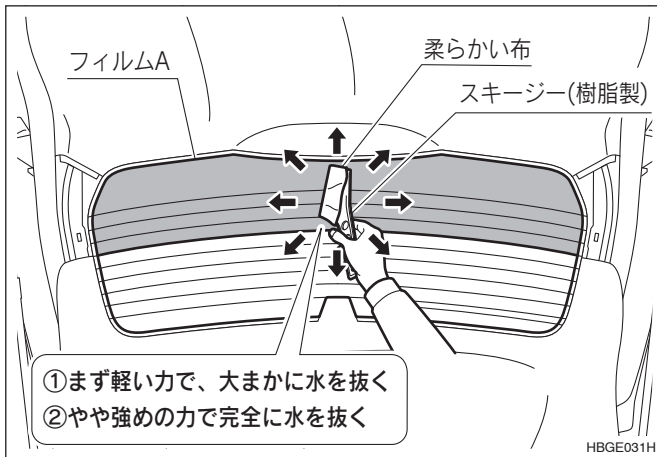


HBGE030H

6. 左図 X-X 断面に従い、フィルム A の下端を**下から 6 本目**の熱線下端部に合わせ、バックドアガラスに左右均等に取り付ける。

👉 アドバイス

- (1) 熱線 1 本目は**①**に従い、作業を行ってください。
- (2) 図中の参考値は、あくまでも目安です。フィルム A の下端が、**下から 6 本目**の熱線下端部に合うことを優先してください。



7. フィルム表面とスキーゴー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

👉 アドバイス

- (1) 施工液のスプレーにより、スキーゴーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。
- (2) スキーゴーに布（ナイロン系）を巻くとすべりが良くなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキーゴー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

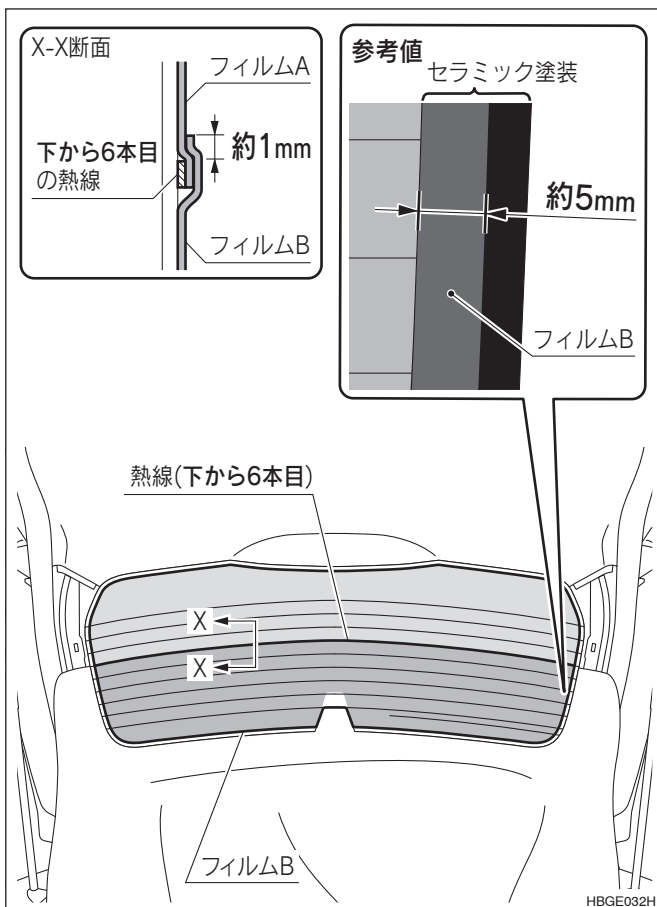
👉 アドバイス

- (1) フィルム A の左右、上端がセラミック塗装と重なっていることを確認してください。
- (2) フィルム A が左右均等であることを、スケール等で確認してください。

9. 押し出された水を柔らかい布で吸い取る。
10. フィルムの中心部から放射線状に、スキーゴー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

👉 アドバイス

フィルムがずれないように、作業をしてください。



11. フィルム A (P.7) 同様にバックドアガラスを清掃し、フィルム B からセパレーターを剥がす。
12. 左図 X-X 断面に従い、下から6本目の熱線上端部からフィルム A と B が約 1mm ラップするよう、左右均等に取り付ける。

👉 アドバイス

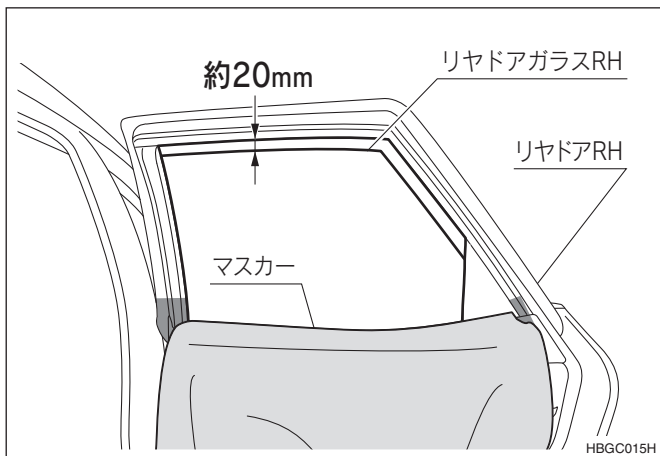
図中の参考値は、あくまでも目安です。フィルム A とフィルム B をラップさせることを優先してください。

13. フィルム A (P.9) 同様に軽く水及び気泡を押し出し、基準位置に合っていることを確認した後に水分を完全に取り除く。
14. バックドアを閉めた際に、施工液が電子機器やコネクタに垂れないよう、周囲の施工液を柔らかい布等で拭き取る。

注意

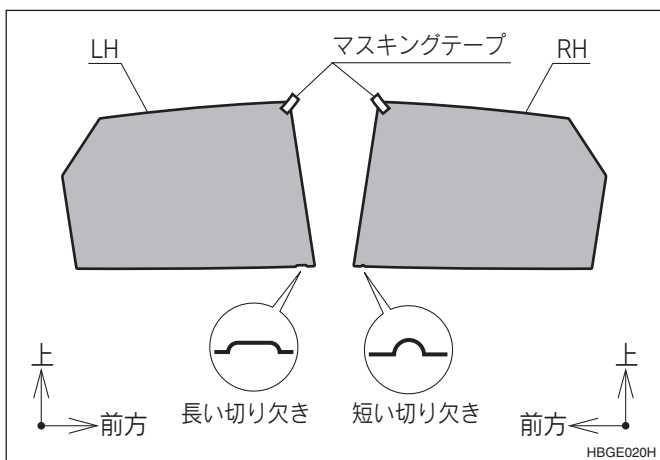
施工液が電子機器に垂れると機器の破損に繋がります。

15. 作業終了後、バックドアに貼り付けたマスキングを取りはずす。



リヤドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備
(図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. 施工液がリヤドア RH 内部に垂れるのを防ぐ為に、マスク等でリヤドア RH を覆う。
2. リヤドアガラス RH が約 20mm 下がっていることを確認する。



リヤドアウインドウフィルムの取り付け
(図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. リヤドアウインドウフィルムの LH 用と RH 用を区別する。

👉 アドバイス

短い切り欠きがある RH 用から取り付けます。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。
3. リヤドアガラス RH 表裏両面に施工液をスプレーし、ガラスを清掃する。

👉 アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

4. リヤドアガラス RH 室内側全面に、再度施工液をスプレーする。
5. フィルム A (P.7) 同様にリヤドアウインドウフィルムからセパレーターを剥がす。

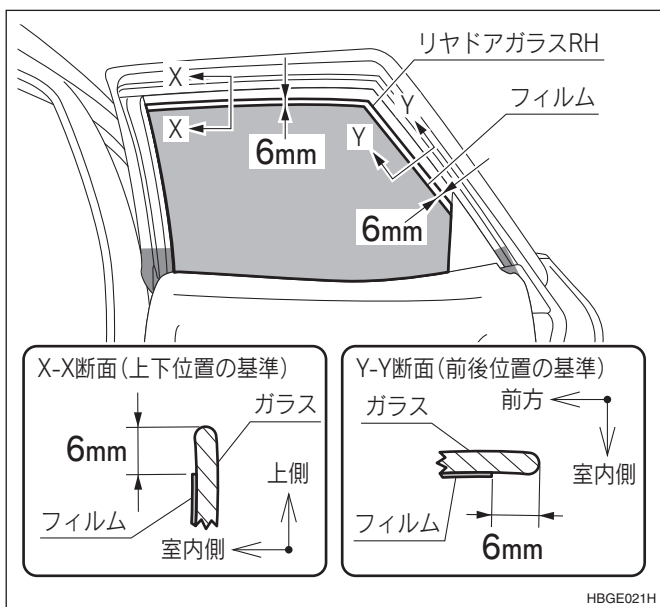
👉 アドバイス

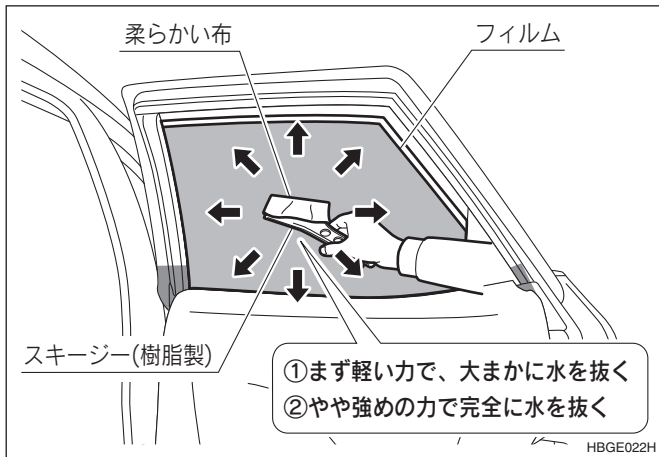
あらかじめ、ガラス外側の上端から 6mm の位置にマスキングテープで位置出しをしておくと、フィルムを容易に貼ることができます。

6. ガラス上端からフィルム上端が均等に 6mm (左図 X-X 断面及び Y-Y 断面) の位置になるように取り付ける。

👉 アドバイス

- (1) 切り欠きがある方が、フィルムの下端になります。
- (2) ガラス以外の部分にフィルム本体が触れないように取り付けてください。





7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

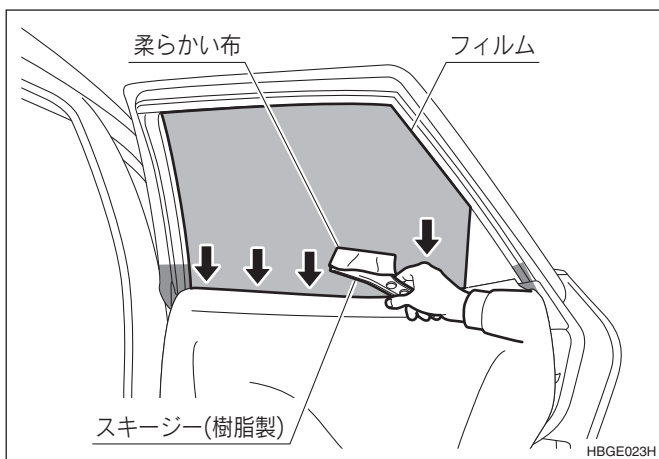
👉 アドバイス

- (1) 施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。
- (2) スキージーに布（ナイロン系）を巻くとすべりが良くなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**軽く**フィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。
9. 押し出された水を柔らかい布で吸い取る。
10. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で**やや強めに**フィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

👉 アドバイス

フィルムがずれないように、作業をしてください。



11. バッテリーの（-）側ケーブルを取り付ける。
12. リヤドアガラス RH を一番上まで上げる。
13. バッテリーの（-）側ケーブルをはずす。
14. スキージー（樹脂製）でフィルムとガラス間の水分を外に押し出した後に柔らかい布で吸い取る。
15. 作業終了後、リヤドア RH に貼り付けたマスキータを取りはずす。
16. 同様に、リヤドアウインドウフィルム LH を取り付ける。

復元作業

- ・ 付着した施工液をふき取ってください。
- ・ 取りはずした車両部品を下記の点に注意し、前述の手順に従って、元通りに復元してください。

注意

- (1) 復元作業は、車両部品の損傷や、車両ハーネスの噛み込みに充分注意してください。
- (2) フィルムのズレ防止の為、フィルム貼り付け後 20 分程度は、ドアガラスの昇降を避けてください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷を付けていないことを確認してください。
3. ドアロック、パワーウインドウ（各ドア）が正常に作動することを確認してください。